(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3685845号
(P3685845)
(45)発行日　平成17年8月24日(2005.8.24)　(24)登録日　平成17年6月10日(2005.6.10)

(51)Int.Cl.[7]　F I
G11B 15/10　G11B 15/10　511A
G11B 33/02　G11B 33/02　301C

請求項の数 8　(全 5 頁)

(21)出願番号　特願平7-197652
(22)出願日　平成7年8月2日(1995.8.2)
(65)公開番号　特開平8-45134
(43)公開日　平成8年2月16日(1996.2.16)
審査請求日　平成14年7月26日(2002.7.26)
(31)優先権主張番号　9409588
(32)優先日　平成6年8月2日(1994.8.2)
(33)優先権主張国　フランス(FR)

(73)特許権者　391000771
トムソン　マルチメデイア　ソシエテ　アノニム
THOMSON multimedia S. A.
フランス国　ブローニュ－ビランクル　ケア.　ル　ガロ　46
46, Quai A. Le Gallo, F-92100 Boulogne-BillancOurt, France
(74)代理人　100061815
弁理士　矢野　敏雄
(74)代理人　100094798
弁理士　山崎　利臣

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ジョグおよびシャトルの制御装置

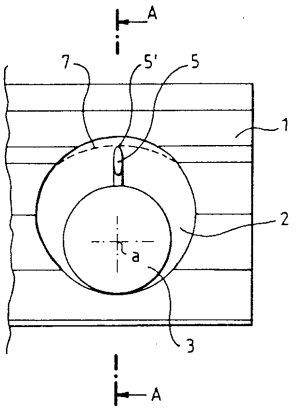
(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
電子装置に対するジョグおよびシャトル制御装置であって、
前記ジョグおよびシャトル制御装置は、少なくとも１つの第１制御手段と、第２制御手段とを有し、
前記第１制御手段は、コントロールパネルのフェースプレートにある窪みの内側に適合されており、これにより該第１制御手段は当該窪み内で第１の軸を中心に回転可能であり、
前記第２制御手段はノブの形状を有し、
該ノブは前記第１制御手段と同心に前記窪み内に取り付けられており、かつノブの外側フェース面は前記フェースプレートとアライメントされており、
前記第１制御手段はフィンガーにより形成されており、
該フィンガーは、前記ノブと同心に取り付けられたリングに固定されている、
ことを特徴とするジョグおよびシャトル制御装置。
【請求項２】
前記窪みの形状は実質的に球状または円筒状である、請求項１記載のジョグおよびシャトル制御装置。
【請求項３】
前記ノブは前記第１の軸を中心に回転可能であるように当該第１の軸に取り付けられている、請求項１記載のジョグおよびシャトル制御装置。

【請求項４】
前記ノブは前記第１の軸に不動に固定されているか、または当該第１の軸に沿って移動可能であるように取り付けられている、請求項１記載のジョグおよびシャトル制御装置。
【請求項５】
前記ノブの位置は前記窪みの中心から側方にオフセットされており、前記窪みは前記第１の軸とは異なる軸を有する、請求項１記載のジョグおよびシャトル制御装置。
【請求項６】
前記ノブのエッジは前記窪みのエッジの１つに接している、請求項１記載のジョグおよびシャトル制御装置。
【請求項７】
前記第１制御手段は、窪み内をサークルの円弧に沿って移動するように取り付けられており、該サークルは前記接触点に対向している、請求項６記載のジョグおよびシャトル制御装置。
【請求項８】
前記フィンガーの上面は前記フェースプレートにアライメントされている、請求項１記載のジョグおよびシャトル制御装置。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、電子機器、例えばビデオレコーダのようなビデオ装置で使用される「ジョグおよびシャトル」の制御装置に関する。
【０００２】
【従来の技術】
ビデオレコーダに対して公知の、ジョグおよびシャトルの制御装置はレコーダのコントロールパネルに直接取り付けられるか、またはリモートコントロールユニットに取り付けられ、実質的に２つの同心の制御手段を有する。これら制御手段は例えば管状リングと第２の手段を有する。管状リングによりフォワードおよびリバースの保見出し速度が回転するリングにより制御される。また第２の手段は中央ノブの形状をしており、一般的に指先の形状の小さな窪みを有する。この第２の手段により種々の機能、例えば画像毎の表示、画像停止、そしてチャネル変更ができる。ビデオレコーダまたは現在市販のそのリモートコントローラでは、その制御部がコントロールパネルのフェーズ面から突出して取り付けられている。したがってその制御部はデザイン的に美しくなく、じゃまである。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
本発明の課題は、上記の欠点をなくした新しい形式の、ジョグおよびシャトルの制御装置を提供することであり、この制御装置は例えばコントロールパネルのフェースプレートを越えて突出しない。
【０００４】
【課題を解決するための手段】
上記課題は本発明により、電子装置に対するジョグおよびシャトル制御装置であって、
前記ジョグおよびシャトル制御装置は、少なくとも１つの第１制御手段と、第２制御手段とを有し、
前記第１制御手段は、コントロールパネルのフェースプレートにある窪みの内側に適合されており、これにより該第１制御手段は当該窪み内で第１の軸を中心に回転可能であり、
前記第２制御手段はノブの形状を有し、
該ノブは前記第１制御手段と同心に前記窪み内に取り付けられており、かつノブの外側フェース面は前記フェースプレートとアライメントされており、
前記第１制御手段はフィンガーにより形成されており、
該フィンガーは、前記ノブと同心に取り付けられたリングに固定されている、

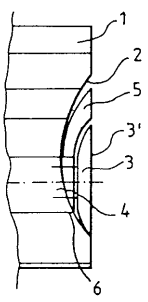
ことを特徴とするジョグおよびシャトル制御装置により解決される。
【０００５】
【発明の実施の形態】
本発明の別の特徴は、窪みの形状が実質的に球形または円筒形であることである。
【０００６】
　本発明によれば、第１制御手段はフィンガーにより形成されており、このフィンガーは、前記ノブと同心に取り付けられたリングに固定されている。
【０００７】
別の構成では、ノブは窪みの中心から横方向にオフセットされており、ノブの外部表面は窪みのエッジの１つに接しており、フィンガーは、接点の反対側でサークルの円弧の周囲を移動するように取り付けられている。
【０００８】
【実施例】
本発明を以下、有利な実施例に基づいて詳細に説明する。
【０００９】
図１と図２には、１によりビデオレコーダのコントロールパネルのフェースプレートが示されている。しかし当業者には、本発明の、ジョグおよびシャトルの制御装置を、ビデオレコーダのリモートコントロールユニットにこの実施例と同じように設けることのできることが容易に想到できる。窪み２はこのフェースプレート１に設けられている。図２により明瞭に示されているように、窪み２は円形であり、直径は実質的に、ジョグおよびシャトル制御装置全体を受け入れ、その操作を可能とする大きさである。図１と図２に示されているように、ジョグおよびシャトル制御装置は実質的にノブ３により構成されており、ノブ３は軸ａに同心のシャフト４に取り付けられている。ノブ３は固定することができ、純粋に装飾的機能を有する。ノブ３は軸を中心に可動回転するか、またはこの軸方向に沿って移動することができる。この場合、ノブ３は画像毎の観察を画像の停止またはチャネル変更することにより可能とする。ノブ３は実際には従来の形式のジョブおよびシャトル制御装置の中央ノブの機能を果たす。このノブは窪み２の中に、その外周面３’がコントロールパネルのフェースプレート１とアライメントされるように取り付けられる。
【００１０】
図２に示すように、ノブは円筒状ではない。その裏面の形状は実質的に円形であり、これにより窪み２にぴったりと適合する。さらに本発明によれば図１から図３に示すように、制御第１手段は、フォワードおよびリバース読み出し速度を変化することができるする。この制御第１手段は、フィンガー５により構成されており、これは管状部分６に、軸ａにシャフト４と同心に固定されている。これは図２に示されている。アセンブリは管状部分６とフィンガー５を有し、窪み２にこの窪み内をサークル７の円弧に沿って回転できるように取り付けられている。付加的にフィンガー５の形状は、その上面５’が楕円であり、コントロールパネルのフェースプレートとアライメントされるようになっている。このようにしてその構成により、コントロールパネルのフェースプレートから突出する部材をジョグおよびシャトル制御装置は有しないようになる。
【００１１】
当業者には容易に、本発明のジョグおよぶシャトル制御装置の種々の部材を変形することができる。例えば、ノブおよびフィンガーを本発明の構成のまま窪みの形状は円筒状とすることもできる。
【図面の簡単な説明】
【図１】本発明のジョグおよびシャトル制御装置を有するビデオレコーダのフェースプレートの正面図である。
【図２】図１のＡＡの断面図である。
【図３】図１のジョグおよびシャトル制御装置に使用されるフィンガーの斜視図である。
【符号の説明】
１　フェースプレート

2　窪み
3　ノブ
4　シャフト

【図１】



【図２】



【図３】



フロントページの続き

(72)発明者 ジェラール ヴェルグノー
フランス国 オスニ リュ デュ ドクトゥル シュヴァイツァー １２
(72)発明者 フィリップ スターク
フランス国 イシ レ ムリノ リュ ピエール ポリ ２７

審査官 井上 信一

(56)参考文献 特開平３－２５４４５５（ＪＰ，Ａ）
実開平３－２８５８１（ＪＰ，Ｕ）
特開平５－３０７８６５（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
G11B 15/10
G11B 33/02